

第十回JHHH全国会議開かれる

平成二十一年十月十七、十八日 福島県立医科大学

福島県福島市において第十回JHHH(ジャパン・ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス)全国会議が開かれ、記念講演会を聴講した後、分科会に分かれグループディスカッションで全国の仲間の皆さんと日頃の悩みやお互いの活動について意見交換を行いました。翌日には、「パンダハウス」・「ドナルド・マクドナルド・ハウス」などの見学に参加しました。

(記・事務局長 大西可奈)

【全国会議プログラム】

第一部 記念講演

「ボランティアコーディネイトについて」

第二部 グループディスカッション

第一分科会 「ボランティアに関すること」
第二分科会 「地域との連携に関すること」
第三分科会 「利用者対応に関すること」



全国会議に集まった仲間のみなさん

全国各地でファミリーハウス運動に携わるボランティアや医師などが分科会でそれぞれのテーマに沿ったディスカッションを行いました。参加者は、日頃抱える課題の解決に向けてヒントを探そうにメモをとるなど真剣な様子でした。

特に、ボランティアを育てるためにはモチベーション向上として地域に密着した活動と原点を忘れないことの大切さを学びました。

次回の全国会議は愛知県で開催されます。

パンダハウスを見学

パンダハウスは福島県立医科大学病院にほど近い山の中腹に建っていました。

平屋づくりで三つの個室と共有スペースのリビングとオープンキッチンがあり、玄関ホールは吹き抜けでも明るい印象です。ベットカバーやクッション、壁飾りなど手作りのものに囲まれ温かい雰囲気につつまれ、まさに「病院近くのわが家」という感じでした。

窓からは森や竹林が見え窓の外からも癒される思いがしました。

ハウスで活動しているボランティアの方は、料理・掃除

・手芸・パソコンなどの担当を決め、利用者の方々のお世話をしています。そんな温もりある接し方に利用者も心癒されることだと感じた思いがしました。



ハウスのシンボル



パンダハウス建物外観

「ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい」

二〇〇三年十一月に仙台市青葉区に国内二号目として誕生しました。

同年十一月に開院した宮城県立子ども病院までは歩いて五分ほど。入院される子ども達のご家族に第二の我が家を提供します。

【ドナルド・マクドナルド・ハウス】

ドナルド・マクドナルド・ハウスは、ハンバーガーで有名なマクドナルド中心となり世界二十カ国・二八八カ所に建設したファミリーハウスで国内にも六カ所設けられています。道内のハウスは札幌市手稲区にあり、北海道子ども総合医療・療育センターに隣接しています。

ドナルド・マクドナルド・ハウスHPより抜粋

クリスマスプレゼント寄贈

北海道大学病院と札幌医科大学附属病院に「木製積木」をクリスマスプレゼントとして寄贈しました。

二〇〇九年・助成金等

ファミリーハウスの運動に対し、各方面から多大なご支援をいただきました。貴重なご寄付などは運動の主旨に沿う形で活用させていただきます。皆さまのご支援に心から感謝申し上げます。

■助成金

札幌信用金庫社会福祉基金 様 五万円

■寄付金

北斗会 様 二十万円